

5月度月例句会 会報・HP掲載句

五月詠草

兼題：夏場所、馬酔木、当季雑詠

淡色の幟が似合ふ五月場所	城戸崎雅崇
夏場所や四股踏む脚の高く高く	佐藤 政百
夏場所ややぐら太鼓に屋形船	大仲 正敏
聞こゆるは馬酔木の花の鈴の音か	清家 静楓
藪白し馬酔木の花の薄化粧	中山 知祐
花馬酔木くぐりて登る天城山	石原 克己
白き壺垂れて哀しき馬酔木かな	小野 信
花馬酔木風無き刻の揺れ重し	安井 正浩
通り抜け八重の桜の鞠の如	森 邦彦
風薫る令和の響き心地よし	川田 勝美
雨あがり街行く乙女夏めきて	生江沢五風
便利だが幸せなのか春令和	眞田 宗興

以上